

二つの修飾要素を含む名詞句における日中指示詞の 対照

史, 隼
九州大学大学院言語文化研究院

<https://doi.org/10.15017/25669>

出版情報：言語文化論究. 29, pp.131-146, 2012-10-24. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン：
権利関係：

二つの修飾要素を含む名詞句における日中指示詞の対照

史 隼

1. 研究目的

日本語と中国語は二つの修飾要素（「家伝の」「連城の壁に値する」）を主名詞（「絵」）の前に置く言語類型がある。

修飾要素	修飾要素	主名詞
[祖上传的]	[价值连城的]	画
[家伝の]	[連城の壁に値する]	絵

(1) のように二つの修飾要素を含む名詞句の前、中、後に指示詞の位置が異なってくる場合がある。中国語学習者だけではなく母語話者の筆者でも二つの修飾要素を含む名詞句を作成する時、指示詞の位置について迷いを感じる場合もある¹。

- (1) a. 我卖了那幅² [祖上传的] [价值连城的] 画。
 b. 我卖了 [祖上传的] [价值连城的] 那幅画。
 c. 我卖了 [祖上传的] 那幅 [价值连城的] 画。

日本語の指示詞が「コ・ソ・ア」三系列であるのに対して、中国語の指示詞は“这”と“那”の二系列からなる³。本稿では日本語指示詞と中国語指示詞の対応関係は問題としない。主に、二つの修飾要素における指示詞の位置とその機能を分析し、それぞれの位置で果たしている機能と文のニュアンスについて比較し、その原因を探りたい。

2. 問題提起

二つの修飾要素と指示詞を含む名詞句は、修飾要素と指示詞の位置により、「指示詞先頭型」「指示詞末尾型」「指示詞の中間型」の三種類の構造がありうる。以下、指示詞は「D」、修飾要素は「M」、名詞は「N」と表記する。

- A 「指示詞」+ 修飾要素 + 修飾要素 + 名詞 (D+M+M+N) [指示詞先頭型]
 B 「修飾要素 + 修飾要素 + 指示詞」+ 名詞 (M+M+D+N) [指示詞末尾型]
 C 「修飾要素 + 指示詞」+ 修飾要素 + 名詞 (M+D+M+N) [指示詞中間型]

(2)(3) のように日本語と中国語の「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」のいずれも成立する⁴。

- (2) a. 私は^{その} [家伝の] [連城の壁に値する] 絵を売った。
 b. 私は [家伝の] [連城の壁に値する] ^{その} 絵を売った。
 c. 私は [家伝の] ^{あの} [連城の壁に値する] 絵を売った。
- (3) a. 我卖了^{那幅} [祖上传的] [价值连城的] 画。
 b. 我卖了 [祖上传的] [价值连城的] ^{那幅} 画。
 c. 我卖了 [祖上传的] ^{那幅} [价值连城的] 画。

しかし、日本語文(2)では「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」における指示詞はともに主名詞「絵」を強調する役割で、指示詞の位置によって異なるニュアンスは見られない。つまり、指示詞が特定のニュアンスを表すために、特定の位置で使われることが必須ではないと言える。これに対して、中国語(3a)「指示詞先頭型」の指示詞には特定化の機能、(3b)「指示詞末尾型」の指示詞には状態・様子を指示する機能、(3c)「指示詞中間型」の指示詞には他と区別する機能が働いている。中国語では指示詞の位置によって文のニュアンスがかなり違うため、異なるニュアンスを表すには指示詞はそれぞれの位置での使用が必須となると見られる。

また、(4)(5)のように日本語では「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」のいずれも成立するが、中国語(5c)では「指示詞中間型」は成立するが、「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」は成立しないケースがある。

- (4) a. 家では、^{その} [私の] [頑固な] 父にはとても困っている。
 b. 家では、[私の] [頑固な] ^{その} 父にはとても困っている。
 c. 家では、[私の] ^{あの} [頑固な] 父にはとても困っている。
- (5) a. *在家里，^{那个}⁵ [我] [倔强的] 爸爸最让人头疼。
 b. *在家里，[我] [倔强的] ^{那个} 爸爸最让人头疼。
 c. 在家里，[我] ^{那个} [倔强的] 爸爸最让人头疼。

以上のように、日中二つの修飾要素における指示詞の位置による機能差があると見られる。原因は、日本語と比べて中国語は指示詞の働きに重要度と制約があると考えられる。本稿ではこの観点を説明するために、「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」におけるそれぞれ日本語と中国語指示詞の機能について分析、考察する。

3. 先行研究

中国語の指示詞と修飾要素との位置関係に関して、呂(1985)は「指示詞が修飾要素の後にある場合、その修飾要素は決定的な役割を果たしているが、逆に修飾要素の前にある場合、その修飾要素はただの描写の役割でしかない。」⁶と述べている。つまり、指示詞の位置には修飾要素の重要度が現れている。

- (6) a. 那本⁷ [很厚的] 书。 ←你要这两本中的哪本？
(那个) [とても厚い] 本だ。 (2冊の中のどちらが欲しい。)
- b. [很厚的] 那本 书。 ←你今天买的是哪本书？
 ([とても厚い] 那个 本だ。 (今日買ったのはどの本？)

(6a) と (6b) の根本的な区別はその修飾要素が文全体の意味に果している重要度である。(6a) は本を指している状況での発話である。この場合、焦点は指示詞の部分にあり、修飾要素“很厚的(厚い)”は指差した“书(本)”の形態を述べているにすぎない。(6a) を答えとする疑問文を作ると“你要这两本中的哪本？(2冊の中のどちらが欲しい。)”となる。一方、(6b) における焦点は「厚い」という特徴にある。この場合、指示詞は聞き手も知っている本を指しているだけで、その場で指しているわけではない⁸。(6b) を答えとする疑問文を作ると“你今天买的是哪本书？(今日買ったのはどの本?)”となる。

また、盛(2010)の調査によると中国語では指示詞と修飾要素が共同で主名詞を修飾する場合に、「指示詞+修飾要素+主名詞(D>R>N)」という構造を採用する例文の割合は75%であり、「修飾要素+指示詞+主名詞(R>D>N)」という構造の例文の3倍である。即ち、「指示詞+修飾要素+主名詞(D>R>N)」構造は相対的に優位にあると述べている⁹。

表(1) 中国語における指示詞と修飾要素が主名詞を修飾する例文の比例(盛)

	D>R>N	R>D>N	合計
这	45 (83.3%)	9 (16.7%)	54 (100%)
那	58 (72.5%)	22 (27.5%)	80 (100%)
合計	103 (76.3%)	31 (23.1%)	134 (100%)

盛(2010)の結論をまとめると以下ようになる。

日本語は後置詞型言語であり、前置詞がないため、SOV構造の日本語は一般的に「修飾要素>指示詞>主名詞(R>D>N)」を使っている。もし、「指示詞>修飾要素>主名詞」を使うとしたら、指示詞が主名詞以外の格成分を修飾するようにも見えてしまうため、日本語では(7)のように通常「指示詞>修飾要素>主名詞(D>R>N)」構造が使われない」と指摘されている。しかし、(8)のように日本語では「指示詞>修飾要素>主名詞」構造の例が少なくない。また、(8)の「その」が主名詞「顔」以外の格成分を修飾するようには見えないとも盛(2010)で指摘されている。

- (7) ?? その 夢寐にも忘れなかった人の前に、丑松は今偶然にも腰かけたのである。(盛 2010)
 (8) 黙っていると、その 律儀で素朴な感じの顔はひどく老けてみえる。(『明日来る人』)

本稿の重心は二つの修飾要素を含む名詞句における各構造の割合にではなく、その中の指示詞の機能に置いている。中国語における二つの修飾要素を含む名詞句に関して呂(1985)は、「二つの修飾要素がある場合、指示詞はよく修飾要素の後に置くが、中間に置く場合もある。」¹⁰と述べているが、その場合の指示詞の機能については言及していない。

- (9) 这就是[你昨天说的][我们的] 那个 亲戚。(吕 1985)
 (こちらはあなたが昨日言った私たちのその親戚です。)

- (10) 钱赚多了千万不要赌, 将来留着给 [你] 那个 [死了母亲的] 儿子用。(吕 1985)
 (お金が儲かったらばくちをしないで。将来あなたのあの母親を失った息子に残しておこう。)

また、二つの修飾要素がある場合、(11) のような「指示詞先頭型」もありうる。

- (11) 真想回去看看那个 [你说的] [咱] 亲戚。
 (そのあなたが言った私たちの親戚に会いに帰りたい。)

つまり、二つの修飾要素と指示詞を含む名詞句は、修飾要素と指示詞の位置により、「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」、「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」、「指示詞中間型 (M+D+M+N)」の三種類の構造になる。

4. 分類

「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」の三種類の構造は、修飾要素が人称代名詞か修飾節か、主名詞が特定の事物を指すか (特定名詞) 指さないか (不特定名詞) で次のように A～C の三つに分類できる。

- I 「指示詞 + 修飾要素 + 修飾要素 + 名詞」(D+M+M+N) [指示詞先頭型]
 A 「指示詞 + 人称代名詞 + 修飾要素 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 B 「指示詞 + 修飾要素 + 人称代名詞 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 C 「指示詞 + 修飾要素 + 修飾要素 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 II 「修飾要素 + 修飾要素 + 指示詞 + 名詞」(M+M+D+N) [指示詞末尾型]
 A 「人称代名詞 + 修飾要素 + 指示詞 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 B 「修飾要素 + 人称代名詞 + 指示詞 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 C 「修飾要素 + 修飾要素 + 指示詞 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 III 「修飾要素 + 指示詞 + 修飾要素 + 名詞」(M+D+M+N) [指示詞中間型]
 A 「人称代名詞 + 指示詞 + 修飾要素 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 B 「修飾要素 + 指示詞 + 人称代名詞 + 特定名詞 / 不特定名詞」
 C 「修飾要素 + 指示詞 + 修飾要素 + 特定名詞 / 不特定名詞」

5. 中国語指示詞の考察

5.1 指示詞先頭型 (D+M+M+N)

「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」の場合、主名詞は特定の事物を指さず、先頭の指示詞は名詞句全体を特定化する役割を果たしている。

- (12) 你读过那部¹¹⁾ [何荆夫的] [在美国出版的] 书稿, 有没有发现什么问题?
 (おまえ、その何荆夫のアメリカで出版された原稿を読んでしたが、なにか問題を見つけなかったかね?)
 (13) 真想回去看看那个 [你说的] [咱] 亲戚。

(そのあなたが言った私たちの親戚に会いに帰りたい。)(= (11))

- (14) 我卖了那幅 [祖上传的] [价值连城的] 画。(=(3a))
(私はその家伝の連城の壁に値する絵を売った。)

これらの例において指示詞が特定化の役割を果たしていることは、指示詞を用いない例と対比するとわかる。

- (15) 你读过那部 [何荆夫的] [在美国出版的] 书稿, 有没有发现什么问题?
(おまえ、その何荆夫のアメリカで出版された原稿を読んでいたが、なにか問題を見つけなかったかね?) (= (12))
- (16) 你读过 [何荆夫的] [在美国出版的] 书稿, 有没有发现什么问题?
(おまえ、何荆夫のアメリカで出版された原稿を読んでいたが、なにか問題を見つけなかったかね?)

(15) の“那部 [何荆夫的] [在美国出版的] 书稿 (あの何荆夫のアメリカで出版された原稿)”は、“何荆夫”の特定の“书稿 (原稿)”を指している。(16) のように指示詞を用いない場合は特定の“书稿”を指すことにならず、“何荆夫的”のアメリカで出版されたの“书稿”を意味することになる。二つの修飾要素の前の位置にある指示詞“那部”は指示対象を特定化する役割を果たしている。

「指示詞先頭型」の場合、主名詞が特定名詞の場合は非文となる。もともと特定の事物を指すのにさらに特定化の意味を加えることになるからである。

- (17) *你读过那部 [何荆夫的] [在美国出版的] 《沉沦》, 有没有发现什么问题?
(「おまえ、その何荆夫のアメリカで出版された『沉沦』を読んでいたが、なにか問題を見つけなかったかね?」)

修飾要素が主名詞の特定化に結びつく場合も指示詞の使用は不自然になる。たとえば、(15) の“在美国出版的 (アメリカで出版された)”を具体的な書名を含む“名叫《沉沦》的 (『沉沦』という)”と入れ替えた (18) を見てみよう。

- (18) *你读过那部 [何荆夫的] [名叫《沉沦》的] 书稿, 有没有发现什么问题?
(「おまえ、その何荆夫の「沉沦」という原稿を読んでいたが、なにか問題を見つけなかったかね?」)

(18) では、修飾要素“名叫《沉沦》的 (『沉沦』という)”が加わった段階で名詞句が特定の事物を指すようになり、特定化の機能を果たしている指示詞との併用は不自然になる。先行研究で論じられた修飾要素が一つの場合と同様、「指示詞先頭型」の焦点も指示詞にあり、修飾要素は主名詞が表す事物の特徴や形態などを述べているにすぎない。修飾要素が事物の特定化に結びつくことは、指示詞と修飾要素の機能の逆転につながり、そのため不自然になると考えられる。

次の (19) では a → c の順に容認度が下がる。指示詞“那个”の後の修飾要素も名詞も具体的な事物を指さない a は非常に自然な文である。一方、b では“你说的摔断腿的 (あなたが言った足が折れた)”が主名詞“亲戚”をかなり特定化しており、指示詞の使用は不自然さが感じられる。c は主名詞

“爸爸（父）”が特定の人を指すため、指示詞で特定化することはさらに不自然である。

- (19) a. 真想回去看看那个 [你说的] [咱] 亲戚。
 (あの [あなたが言った] [私たちの] 親戚に会いに帰りたい。) (= (11) (13))
 b. ?真想回去看看那个 [你说的] [摔断腿的] 亲戚。
 (あの [あなたが言った] [足が折れた] 親戚に会いに帰りたい。)
 c. *真想回去看看那个 [你说的] [咱] 爸爸。
 (あの [あなたが言った] [私たちの] 父に会いに帰りたい。)

ただし、特殊な文脈においては、主名詞が特定の事物を指してもよい。たとえば、次の (20) は、二つの修飾要素“[我] [从没见过面的] (私の会ったこともない)”が「父」の属性に関してよく分からないという意味を付与するために自然になる。

- (20) 那个 [我] [从没见过面的] 爸爸到底是死是活呀。
 (あの私の会ったこともない父は一体生きているかどうか。)

以上のように、「指示詞先頭型」における指示詞は具体的な物事を指示せず、名詞を特定化する機能を果たしている。この場合、指示詞以外の修飾要素ならびに主名詞が特定の事物の指示にならないことが必要である。

5.2 指示詞末尾型 (M+M+D+N)

「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」においては、指示詞が修飾要素を指し、修飾要素の内容を強調しながら、直接言及されていない他の事物との区別を示す機能を果たしている。この場合、修飾要素は意味上重要である。

- (21) 你读过 [何荆夫] [名叫《沉沦》的] 那部书稿, 有没有发现什么问题?
 ([おまえ、何荆夫の「沉沦」というその原稿を読んでしたが、なにか問題を見つけなかったかね?])
 (22) 这就是 [你昨天说的] [我们的] 那个亲戚。
 (こちらはあなたが昨日言った私たちのその親戚です。) (= (9))
 (23) [你说的] [还有个伙伴在后面的] 那句¹²⁾话是实话。
 (あなたが言った「まだ一人が後ろにいる」その話は本当の話です。)

(21) (22) (23) の場合、話し手は主名詞が表す事物についてよく分かっており、他の事物と区別するため、修飾要素の内容を特に取り立てている。(6b) 述べた“[很厚的] 那本书”のように指示詞が修飾要素の後にある場合は修飾要素に焦点が置かれるが、これは修飾要素が二つ以上の場合でも同じだということである。

「指示詞末尾型」の場合、主名詞が特定の事物を指す場合はこの構造は不自然になる。修飾要素による他との区別が特に必要ないからである。たとえば、(24) (25) では名詞「父」「一人っ子」という言葉は、対象が一人しかいないことを意味しており、すでに他と区別する必要がない。

- (24) *在家里, [我] [倔强的] 那个爸爸最让人头疼。(=(5b))
 (家では, 私の頑固なその父にはとても困っている。)
- (25) *[他] [娇生惯养的] 那个独生子又被抓进警察局了。
 (彼の甘やかされて育ったその一人っ子はまた警察に捕まったよ。)

ただし、修飾要素が特定の事物を指すような意味を表す場合は、名詞を他と区別するより具体的な特徴として扱われ、正文となる。(26) では、特定の意味の修飾要素“[何荆夫] [名叫《沉沦的》] (何荆夫の「沉沦」という)”の後に指示詞“那部”が用いられているが、この場合、「何荆夫の「沉沦」という」は「原稿」に一つの特定の意味を付与した修飾要素である。

- (26) 你读过 [何荆夫] [名叫沉沦的] 那部书稿, 有没有发现什么问题?
 (「おまえ、何荆夫の「沉沦」というその原稿を読んでいたが、なにか問題を見つけなかったかね?」) (= (21))

以上から、「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」における指示詞は、話題中の名詞 (区別する必要のあるもの) を他のものと区別するため、言及されているものの特徴に焦点を置くために用いられていると言える。

5.3 指示詞中間型 (M+D+M+N)

「指示詞中間型 (M+D+M+N)」において、二つの修飾要素はほとんど「同格関係」「所属関係」である¹³。

[所属構造]: N1と「指示詞 +N2」が各々別の事物を指しているもの

- (27) 你读过 [何荆夫] 那部 [名叫沉沦的] 书稿, 有没有发现什么问题?
 (「おまえ、何荆夫のあのアメリカで出版された『沉沦』を読んでいたが、なにか問題を見つけなかったかね?」)

[同格構造]: N1と「指示詞 +N2」が共に同一事物を指しているもの

- (28) 在家里, [我] 那个 [倔强的] 爸爸最让人头疼。(=(5c))
 (家では, 私の頑固なあの父にはとても困っている。)

史 (2012) では「指示詞中間型」の「所属構造」と「同格構造」とも、事物が具体的な状態や様子をともなってイメージされているというニュアンスがある。この場合、指示詞は事物を指示しているというよりは、その事物が持つ特定の状態や様子を指示していると述べている。

- (29) 钱赚多了千万不要赌, 将来留着给 [你] 那个 [死了母亲的] 儿子用。
 (お金が儲かったらばくちをしないで。将来あなたのあの母親を失った息子に残しておこう。)= (10))
- (30) 这就是 [你昨天说的] 那个 [摔断腿的] 亲戚。
 (こちらはあなたが昨日言ったあの足が折れた親戚です。)

(29) (30) は、“儿子 (息子)” “亲戚 (親戚)” が現場にいない場面での文である。この時、“儿子 (息子)” “亲戚 (親戚)” の具体像が話し手の目の前に浮かんでいるようなニュアンスがある。文全体の意味から見れば、(29) の修飾要素“死了母亲的 (母親を失った)”、(30) “摔断腿的 (足が折れた)” は「かわいそう」という気持ちが込められており、話し手は「息子」や「親戚」のかわいそうな様子をあたかも見ているように話している。指示詞はその様子を指している。

- (31) 我这不是变方法儿把 [你们] 这几件 [囫圇圇的] 兵器给你们弄碎了吗? 你们就只想方法儿把 [我] 这一地 [破破烂烂的] 瓦给我弄整了。(吕 1985)
(私はあなた達のこの何丁かの丸のままの武器を砕いてやったじゃないか。あなた達は私のこのぼろぼろの瓦をきちんと整えてくれれば良い。)

(31) の前半の文の“兵器 (武器) は現場にあるが、もうすでに“囫圇圇的 (丸のままの)” の状態ではない。話し手は兵器の割れる前の“囫圇圇的”を想像しながら指示詞を用いている。また、後半の文の“瓦”は現場に存在しているものであるが、指示詞“这一地”は目の前の瓦の“破破烂烂的 (ぼろぼろの)” という状態を指し強調している。

次のように「修飾要素 + 指示詞 + 人称代名詞 + 主名詞」の順序の場合は非文となる。指示詞の後の修飾要素“我们的 (私たちの)” という人称代名詞により、「親戚」の状態や様子を表すという意味にはならないからである。

- (32) *这就是 [你昨天说的] 那个 [我们的] 亲戚。
(こちらはあなたが昨日言ったあの私たちの親戚です。)

さらに、史 (2012) では「N1+ 指示詞 + N2」構造の指示詞の力が弱くなっており、「指示詞の虚化」用法の一種であると指摘している。このような指示詞は「文脈に現れていないが、話し手の頭の中 (様子・状態) に存在している具体像を指す」役割を果たしていると述べている。

「指示詞の虚化」¹⁴ : 「虚詞」は具体的な意味を持たない文法成分である。指示詞は本来の指示意味が弱まり、具体的な意味を持たなくなる「虚詞」のような機能語になる現象は「指示詞の虚化」と言う。

5.4 中国語指示詞の機能

以上で中国語の三つの構造を考察したように、指示詞は二つの修飾要素の前、後、中間の位置の違いによって異なる機能を果たしていると言える。

(33) の名詞“画 (絵)” は特定名詞ではなく、修飾要素“[祖上传的] [价值不菲的] (家伝の連城の壁に値する)” も特定の意味を持っていないため、「二つの修飾要素の前」の指示詞の特定化の機能、「修飾要素の中間」の指示詞の状態・様子を指示する機能、「修飾要素の後」の指示詞の他と区別する機能が働き、三つの構造とも正文となる。

- (33) a. 我卖了那幅 [祖上传的] [价值连城的] 画。
(私はその家伝の連城の壁に値する絵を売った。)
b. 我卖了 [祖上传的] [价值连城的] 那幅画。

- (私は家伝の連城の壁に値するその絵を売った。)
- c. 我卖了 [祖上传的] 那幅 [价值连城的] 画。
 (私は家伝のあの連城の壁に値する絵を売った。)(= (3))

(34) の名詞“話(話)”は特定の意味となっていないが、修飾要素“[你说的][还有个伙伴在后面的] (あなたが言った「まだ一人が後ろにいる」)”は名詞に特定の意味を付与する。したがって、二つの修飾要素の前の指示詞の特定化する機能が働かなくなり、非文となる。

- (34) a. *那句 [你说的] [还有个伙伴在后面的] 话是实话。
 (そのあなたが言った「まだ一人が後ろにいる」という話は本当の話です。)
- b. [你说的] [还有个伙伴在后面的] 那句 话是实话。
 (あなたが言った「まだ一人が後ろにいる」その話は本当の話です。)
- c. [你说的] 那句 [还有个伙伴在后面的] 话是实话。
 (あなたが言ったあの「まだ一人が後ろにいる」という話は本当の話です。)

例(35)は“爸爸(父)”は他と区別する必要のない特定名詞であるため、(35a)(35b)では、二つの修飾要素の前の特定化する機能も修飾要素の後の指示詞の他と区別する機能も働かず、非文となる。(35c)の二つの修飾要素の間の指示詞は、“爸爸”へのイメージを表しているため、正文である。

- (35) a. *在家里, 那个 [我] [倔强的] 爸爸最让人头疼。
 (家では、その私の頑固な父にはとても困っている。)
- b. *在家里, [我] [倔强的] 那个 爸爸最让人头疼。
 (家では、私の頑固なその父にはとても困っている。)
- c. 在家里, 我那个 [倔强的] 爸爸最让人头疼。
 (家では、私のあの頑固な父にはとても困っている。)(=(5))

上述した、「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」の三つの構造において中国語の指示詞が果たしている機能をまとめると次のようになる。

表(2) 中国語指示詞の機能及びその条件

構造	指示詞の機能	修飾要素条件	名詞条件
指示詞先頭型 (D+M+M+N)	特定化する	不特定	不特定
指示詞末尾型 (M+M+D+N)	他と区別する	なし	不特定
指示詞中間型 (M+D+M+N)	具体像を指す	所属関係、同格関係	なし

6. 日本語指示詞の考察

6.1 日本語指示詞の機能

日本語でも中国語と同じように、「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」の三つの構造がありうる。中国語では名詞に特定の意味を付与する修飾要素あるいは名詞自身は特定名詞であ

ると非文になるが、日本語では修飾要素や名詞の属性に影響されずいずれも成立している。

A 「指示詞 + 修飾要素 + 修飾要素 + 名詞」(D+M+M+N) [指示詞先頭型]

(36)

- a. 私の^{その} [私たちの] [去年足が折れた] 親戚に会いに帰りたい。 ⇨ 真想回去看看^{那个} [我们的] [去年摔断] 亲戚。
- b. ^{その} [あなたが言った] [私たちの] 父に会いに帰りたい。 ⇨ *真想回去看看^{那个} [你说的] [咱] 爸爸。
- c. 私の^{その} [あなたが言った] [足が折れた] 親戚に会いに帰りたい。 ⇨ ? 真想回去看看^{那个} [你说的] [摔断腿的] 亲戚。

B 「修飾要素 + 修飾要素 + 指示詞 + 名詞」(M+M+D+N) [指示詞末尾型]

(37)

- a. 家では、[私の] [頑固な] ^{その}父にはとても困っています。 ⇨ *在家里, [我] [倔强的] ^{那个}爸爸最让人头疼。
- b. こちらは [あなたが昨日言った] [私たちの] ^{その}親戚です。 ⇨ 这就是 [你昨天说的] [我们的] ^{那个}亲戚。
- c. [あなたが言った] [まだ一人が後ろにいる] ^{その}話は本当の話です。 ⇨ [你说的] [还有个伙伴在后面的] ^{那句}话是实话。

C 「修飾要素 + 指示詞 + 修飾要素 + 名詞」(M+D+M+N) [指示詞中間型]

(38)

- a. お金を儲けて将来 [あなたの] ^{あの} [母親を失った] 息子に残しておこう。 ⇨ 钱赚了, 将来留着给 [你] ^{那个} [死了母亲的] 儿子用。
- b. こちらは [あなたが昨日言った] ^{あの} [私たちの] 親戚です。 ⇨ *这就是 [你昨天说的] ^{那个} [我们的] 亲戚。
- c. こちらは [あなたが昨日言った] ^{あの} [足が折れた] 親戚です。 ⇨ 这就是 [你昨天说的] ^{那个} [摔断腿的] 亲戚。

各文の指示詞「その」は先行文脈の語句を指示する。つまり、これらの文の「その」は照応機能を果たしていると言える。例えば、(39) のように修飾された語句は前文に登場している。

(39) (AさんとBさんは兄弟。)

A: 小さいとき、よく泣く親戚のことを覚えている? どうしてるのでしょうかね。

B: 覚えているよ。(昔の写真のある人物を指して) これ、見て!

A: だれ? その人。

B: こちらは [あなたが言った] [私たちの] ^{その}親戚です。

A: え? 随分大きくなったね。

「その」の照応機能は中国語指示詞の「特定化する機能」「区別する機能」「状態・様子を指す機能」と異なっているため、前の文に修飾された語句さえ出れば、具体的な修飾要素も特定名詞でも正文である。さらに、この構造における照応用法の指示詞「その」は必須ではなく、いずれも省略できる。

(40) こちらは [あなたが言った] [私たちの] {φ / その} 親戚です。

(40) の「その」を用いなくても前後の文脈さえあれば、前の文に現れた「親戚」に関する語句との照応が完成できる。「その」が省略されても名詞部分はその前に現れた同一対象（語句）に照応しているため、文全般の意味は変わらない。

一方、日本語指示詞「あの」「この」も三つの構造に同じく用いられるが、それぞれの機能とさし方が異なる。「あの」を使用する場合は観念指示であり、指し示している名詞は話し手と聞き手に共通していることが前提条件であるが、「この」を使用する場合は指し示している名詞は現場に存在していることが多い¹⁵。「あの」は観念の中の事物を指し示し、「この」は名詞を指し示してその名詞を強調する機能を果たしている。ただし、「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」の場合、指示詞は修飾されている「名詞」より遠すぎて強調の力が弱まっている。

(41) 「おまえ、{φ / あの / この} [何荆夫の] [アメリカで出版された] 原稿を読んでいたが、なにか問題を見つげなかったかね？」

(41) では、もちろん「ゼロ (φ)」の場合は「不定 (または定)」、「あの」の場合観念指示、「この」の場合は現場指示という形で「指し方 (way of reference)」が全く異なる。しかし、「あの」「この」とも修飾されている「原稿」よりも二つの修飾要素を隔て遠すぎて、「原稿」へ果たしている役割が弱い。そのため、二つの修飾要素の前に指示詞 (あの / この) を使用すると指示詞を使用しない (φ) 場合、文と意味 (ニュアンス) がほとんど変わらないと考えられる。

以上、日本語の「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」、「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」、「指示詞中間型 (M+D+M+N)」における指示詞の機能について考察した。指示詞「この」「その」「あの」機能はそれぞれ異なるが、三つの構造とも指示詞の使用が必須ではない点は共通している。また、日本語指示詞の使用は修飾要素や名詞の特定の属性による制限はまったくない。

表 (3) 日本語指示詞の機能とその条件

構 造	指示詞の機能			修飾要素の条件			名詞の条件		
	この	その	あの	この	その	あの	この	その	あの
指示詞先頭型 (D+M+M+N)	強調機能	照応機能	強調機能	なし	なし	なし	現場に存在	前文に出現	話し手と聴者の共通するもの
指示詞末尾型 (M+M+D+N)									
指示詞中間型 (M+D+M+N)									

6.2 中国語指示詞との比較

以上のように、中国語「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」、「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」、「指示詞中間型 (M+D+M+N)」の三つの構造において、三つの構造ともそれ相応の意味とニュアンスを表したいのであれば、指示詞は必須である。その中での指示詞の機能は異なり、それぞれの機能を果たしている。「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」の指示詞は特定する機能、「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」の指示詞は区別する機能、「指示詞中間型」の指示詞は話し手の頭の中の具体像を指しており、「指示詞の虚化」現象の一種である。

しかし、収集した例によれば二つの修飾要素において日本語が指示詞を用いない場合が中国語より29%ほど多い。現場指示においてなぜ日本語と中国語の指示詞使用率の差が生じたのか。以上から両言語において指示詞の機能差をまとめてみよう。

- A 「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」における中国語指示詞の特定する機能に対して日本語では指示詞の使用は必須ではない。これは中国語では不特定の名詞に修飾要素があっても指示詞などでさらに特定の個体に特定される。指示詞で特定化しない限り、特定の意味にならない場合がある。これに対して、日本語では具体的な修飾要素さえあれば、特定の意味になり特に指示詞で限定する必要がない。
- B 「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」における区別する機能に対して、日本語では指示詞の使用は必須ではない。これは中国語では具体的な場面があっても修飾要素での限定があっても、修飾されるもの（主名詞）は指示詞で限定しない限り特定のものにはなれなく、他のものと区別はできない。これに対して、日本語では具体的な場面に置いて修飾要素の修飾で十分に他と区別でき、さらに指示詞で区別する必要はない。
- C 「指示詞中間型 (M+D+M+N)」における具体像を指す機能は中国語指示詞の「虚化現象」の一種である。日本語には同じ機能を持っていないわけである。

7. 結論

日中両言語では二つの修飾要素における指示詞の働きの重要度と制約があると見られる。本稿では「指示詞先頭型」、「指示詞末尾型」、「指示詞中間型」におけるそれぞれ日本語と中国語指示詞の機能について分析、考察した。

考察結果は以下ようになる。

- ① 日本語指示詞も中国語指示詞も、「指示詞先頭型 (D+M+M+N)」、「指示詞末尾型 (M+M+D+N)」、「指示詞中間型 (M+D+M+N)」の三つの構造に用いられるが、その中での指示詞の機能は異なる。
- ② 中国語指示詞はそれぞれの機能を果たしており、三つの構造ともそれ相応の意味とニュアンスを表したいのであれば、指示詞は必須である。しかしながら、日本語では三つの構造とも指示詞は必須ではない。この点から見れば、二つの修飾要素の構造において中国語の指示詞はより重要な役割を果たしていると見られる。
- ③ 指示対象はそれぞれ異なることによって、文に果たしている機能も違う。ただ、三つの構造に

において指示詞は「特定化する機能」であれ、「区別する機能」であれ、「具体像を指す機能」であれ、いずれも現場指示の用法である。一方、日本語では指示詞「この」「あの」の強調機能は現場指示の用法であるが、「その」の「照応用法」は文脈指示の用法となる。

以上の結論から、日中両言語では二つの修飾要素を含む名詞句における指示詞の場所による機能差が見られる。従って、中国語二つの修飾要素を含む名詞句を教授する場合、指示詞の場所及びその機能についての説明、指導する必要があると思われる。

8. 今後の課題

指示詞の役割と関わっているのは修飾要素と修飾されている主名詞である。日本語の名詞の定性と指示詞の機能に関して庵(2007)で議論されている。また、修飾要素間の位置に関して、英語学でも古くから議論がある。今後は英語学での議論を参照し、日本語名詞(主名詞)の定性問題も結合して中国語の現象の関連について考えたい。

注

- 1 日本語の指示詞が「コ・ソ・ア」三系列であるのに対して、中国語の指示詞は近称の“这”と遠称の“那”の二系列からなる。日本語では指示詞が名詞を修飾する場合、その名詞の前につけるのに対して、中国語では量詞を添える必要がある。例えば、①②では名詞“书包(鞆)”“桌子(テーブル)”と数詞の間に量詞“个(個)”“张(枚)”が必ず必要である。数詞と量詞を合わせて「数量詞」と言う。
 - ① 这三个书包(直訳:この三つの鞆)
 - ② 那一张桌子(直訳:その一つのテーブル)
 ということは、日本語「指示詞+名詞」に対して、中国語では「指示詞+数量詞+名詞」の形で対応していることになる。ただし、数詞が“一”の場合、数量詞は省略可能である。この場合、「指示詞+量詞+名詞」あるいは「指示詞+名詞」形式になる。本稿では日本語と比較するために、中国語の指示詞とその数量詞を合わせて指示詞と呼ぶ。
 - ③ 那一座山 —— 那座山 —— 那山(あの山)
 - ④ 这一个孩子 —— 这个孩子 —— 这孩子(この子供)
- 2 “幅”:〈量〉布で作られたものや絵などを数える場合に用いられる。“一幅画(一つの絵)”“两幅窗帘(二つのカーテン)”
- 3 中国語指示詞“这”:話し手より近いものを指す。“那”:話し手より遠いものを指す。
日本語指示詞「コ」:話し手より近いものを指す。「ソ」:聞き手より近いものを指す。「ア」:話し手と聞き手より遠いものを指す。
- 4 本稿での中国語「修飾要素+指示詞+修飾要素+名詞(指示詞中間型)」構造の指示詞機能に関する結論を合わせるため、対応する日本語指示詞(指示詞の中間型)は「あの」に統一する。
- 5 “个”:〈量〉広く個や伊のものを数える場合に用いる。“一个苹果(一つのリンゴ)”“一个奇迹(一つの奇跡)”“两个人(二人)”“三个选择(三つの選択)”
- 6 原文:“一般说,‘这·那’在定语之后,那个定语就显得有决定作用;‘这·那’在前,那个定语就显得只有描写的作用。”(吕 1985)

- 7 “本”：〈量〉冊子、書籍を数える場合に用いる。“一本笔记本（一冊のノート）”“两本课本（二冊の教科書）”
- 8 現場にある本を指す場合、(4b) “很厚的那本书”の言い方は言えないわけではないが、不自然さを感じられる。目の前にある二つのもののどちらを選ばせる場合、指で指していても指示詞を先に出すのが自然である。そうしなければ、指で指しているため、修飾要素“很厚的”は余計になっている。
- 9 盛 (2010) では R は修飾要素（この論文の M）、D は指示詞、N は主名詞のことを指している。
- 10 原文：“连用两个或多个不同种类的定语时，“这”“那”常常放在所有定语之后，有时候也放在一部分定语之前而在一部分定语之后。”（吕 1985）
- 11 “部”：〈量〉長編小説やドラマ、映画を数える場合に用いる。“一部电视剧（一つのドラマ）”“两部电影（二つの映画）”“三部小说（三つの小説）”
- 12 “句”：〈量〉センテンスや言葉を数える場合に用いる。“一句话（ひと言）”“一句对白（一つのセリフ）”
- 13 「N1+ 指示詞 +N2」構造は二つのタイプに分けられる。両者の違いは指示詞に先行する名詞表現と、それに後続する名詞表現の指している事物が同一事物か否かという点にある。
- I N1と「指示詞 +N2」が共に同一事物を指しているもの [同格構造]
- ① [张华] [这个人] (直訳：張華この人)
- ② [北京] [那个地方] (直訳：北京そのところ)
- II N1と「指示詞 +N2」が各々別の事物を指しているもの [所属構造]
- ③ [妈妈] [这件毛衣] (直訳：母のこのセーター)
- ④ [他] [那本书] (直訳：彼のあの本)
- 14 指示詞“这/那”の「本来の指示詞の力」が弱まる現象を「指示詞の虚化」という。張・方 (2001) 《汉语功能语法研究》では、「語彙意味の弱まりはわれわれ本来言っている「虚化（弱まり）」、同時にその語彙に新たな文法範疇と文法成分が生じる。指示詞は機能語であり、文章の比較的具体的な意義を持った名詞・動詞・形容詞などと違って指示対象は文章の中でしか確認できない。また、指示詞は典型的な介詞・接続詞・語気詞などうわべだけで実のない言葉とも異なる。したがって、指示詞は比較的具体的な意義とうわべだけで実のない言葉の間に介して、最も変化しやすい」と述べている。
- 15 「この」は現場指示でなくても使える。下記の例のように「あの」は不可、「その」も座りが悪いが、「この」は最も適切です。
- 私にはちょっと変わり者の親戚がいる。家の前からバスに乗れるのに毎日駅まで二キロ歩くこの親戚は近所では変わり者扱いされているが、私は大好きです。

参 考 文 献

- 庵功雄 (2007) 『日本語におけるテキストの結束性の研究』くろしお出版
- 石井誠 (1998) 「日中対照指示詞の研究」『国文学解釈と鑑賞』63-1 至文堂
- 大野美千代 (1978) 「文章に使われた指示語：コ系・ソ系の機能差」『東京女子大学日本文学』48 東京女子大学日本文学研究会
- 金水敏 (1986b) 「連体修飾成分の機能」『松村明教授古希記念国語研究論集』明治書院
- 金水敏 (1990) 「日本語の指示詞における直示用法と非直示用法の関係について」『自然言語処理』6

- 4 言語処理学会

- 金水敏 (1998) 「日本語における心的空間と名詞句の指示について」『女子大文学 国文篇』39 大阪女子大学国文学科
- 中みき子 (1990) 「小説における日・中指示詞の機能の差異について」『京都外国語大学研究論叢』35 京都外国語大学
- 新村朋美 (1992) 「指示詞の習得」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』4 早稲田大学
- 牧野美奈子 (1993) 「中国語の指示詞とテキスト」『中国語学』240 日本中国語学会
- 高丸 (2006) 「中国語の指示代詞“这”“那”の虚化について」『多元文化』6 名古屋大学大学院国際言語文化研究科
- 高革萍 (2002) 「指示詞の日中対照 - 中国人学習者による誤用を参考に -」『早稲田日本語研究』10 早稲田大学国語学会
- 李杰 (2004) 「日中指示詞の対照研究 (1) 中国人日本語学習者のコソアの習得における困難点についての分析」『福岡教育大学国語科研究論集』45 福岡教育大学国語国文学会
- 李杰 (2005) 「日中指示詞の対照研究 (2) 中国人日本語学習者のコソアの習得における困難点についての分析」『福岡教育大学国語科研究論集』46 福岡教育大学国語国文学会
- 吕叔湘 (1964) 「近代指示词“这”的来源」《中国语文》4 商务印书馆
- 吕叔湘 (1980) 《现代汉语八百词》商务印书馆
- 吕叔湘 (1985) 《近代汉语指代词》学林出版社
- 盛文忠 (2010) 「汉日语关系从句与指示词语序的类型学差异」《日语学习与研究》2 对外经济贸易大学
- 史隼 (2008) 「文脈における日中指示詞の対照研究」『一橋大学留学生センター紀要』11 一橋大学留学生センター
- 史隼 (2012) 「日中指示詞の対照研究」一橋大学言語社会研究科博士論文
<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/22864/1/0201103001.pdf#search=%27%E5%8F%B2%E9%9A%BD%20%E4%B8%80%E6%A9%8B%27>
- 王道英 (2005) 『“这”、“那”的指示功能研究』学林出版社
- 张伯江・方梅 (2001) 《汉语功能语法研究》江西教育出版社

用例出典

- 『明日来る人』井上靖 新潮文庫 (1961) / 『情系明天』林少華 北岳文芸 (1988)
 ★出典が書かれていない例文は筆者による作例である。

The Comparative Study of Japanese and Chinese Demonstrative in the Noun Phrase with Two Modifiers

Shi Juan

ABSTRACT

In a noun phrase with two modifiers, a demonstrative can be placed in the front, at the middle, and at the end of the two modifiers. These three forms exist in both Japanese and Chinese. It is confusing for Chinese learners to differentiate these three forms and place the demonstrative properly to reflect what they intend to express in Chinese. The paper investigates the difference of these three forms, and compares them between Japanese and Chinese. We point out that the demonstrative in the same position serves a different function in Chinese than that in Japanese. Such a functional difference introduces one of the top difficulties for a lot of Chinese learners to master Chinese.